

其ノ第三号以下ノ全項目ハ執シモ目下會社制度ノ状
況ヨリ視テ更ニ考慮ノ余地ナシ
尚今後ハ會社従業員ノ外第三者ニ絶対会见スル
旨ヲ附加シ願ハ強硬ナル態度ヲ以テ之ノ邊拒シタリ
ニ各交渉等負等モ何事返ス言葉ナク其ノ便辭ト
シタリ

三、職工側ノ勤弊

1) 演説会出席

工友会ニ於テ本件経緯ヲ一般町民ニ訴ヘ屏々同階
ヲホメント二十五日午後七時半ヨリ同所公會堂ニ於テ演
説會ヲ開催シタル(無料)先之同演説會ヲ盛大ニ
ヘク別紙ノ如キ「親愛有る町民諸君ヨリ訴」トシテ
印刷物ヲ配布シ前景ハ煽ラセ及入場者盛ナリ

二十七日、演説
会

三百名(会員男六五、女五町民五〇)ニ達シタリ

定期ニ至ルヤ萩本哲郎ノ簡單ナル同会ノ辞ニ始マリ
次テ会長元坂順次以下十五名ノ来去交互起テ熱
弁ヲ振ヒタル共ノ論旨ヲ概括スレハ

由來工友会ハ勞資双方ノ福利増進ヲ企圖シ組織シタ
ルモノナルモ会社ハ横暴ニ一ツトシテ勞働条件ヲ改善
シタルコトナク殊ニ本年六月教育基金トシテ一般會
ヨリ壹收シタル積立金ニ對シ豫測ヲ違フル大正會ナシ
後付職工ヲ以テ組織ス(御用団体ヲ組織後收ノ内ニ差
別的取扱ヲ爲シ以テ機会アラハ各工友各ノ潰滅ニ企
圖スル等無深又甚タシ即チ今回徴々見テ果シテ
ヘテ同志ヲ激首シタル事實ニ當スルモ力ニ共シテ物語
ルモノナシ